

## 富の偏在と市場の急落

ポール・チューダー・ジョーンズ at TED2015

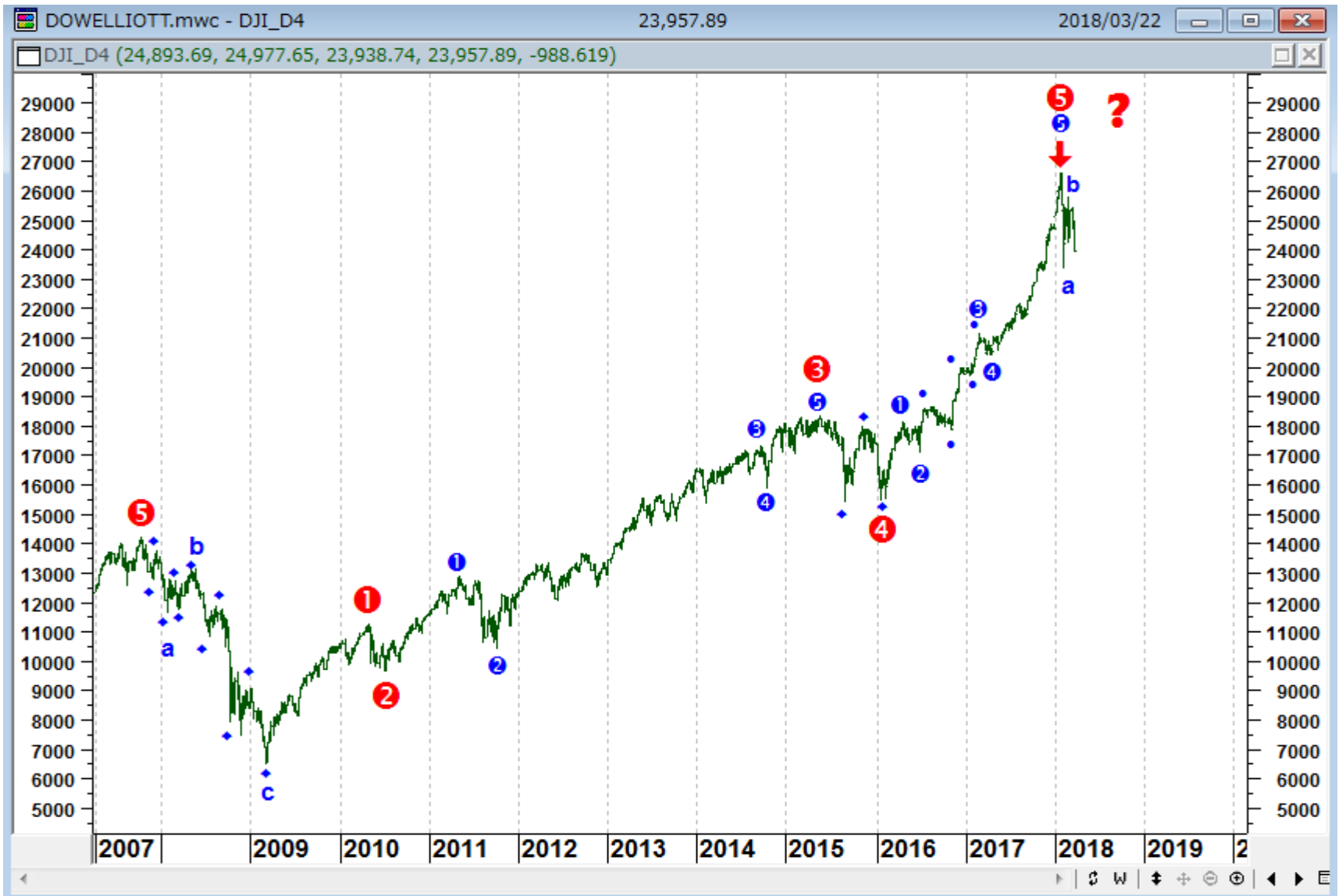
「私たちが資本主義を見直すべき理由」

[https://www.ted.com/talks/paul\\_tudor\\_jones\\_ii\\_why\\_we\\_need\\_to\\_rethink\\_capitalism?language=ja](https://www.ted.com/talks/paul_tudor_jones_ii_why_we_need_to_rethink_capitalism?language=ja)



ポール・チューダー・ジョーンズ II世 は数十年来彼に富をもたらして来た資本主義を愛しています。それでも、このヘッジファンド・マネージャー兼慈善事業家は、利益のみの追求は「私たちの社会基盤を脅かしている」と表現しています。この思慮と情熱のトークで、彼は「公正さ」という概念を基盤とする彼の新たな巻き返し運動の計画を紹介します。

# NYダウ（週足）と波動カウント



## 相場は防御

自分はうまいなどと思っ**て**はいけない。そう思った瞬間に破滅が待っている。(ポール・チューダー・ジョーンズ)

自分はうまいなどと思っ**て**はいけない。そう思った瞬間に破滅が待っている。  
(ポール・チューダー・ジョーンズ)

### 重要なのはこれからの動き

●私は3秒前に犯した失敗はまったく気にしない。私が気にするのは次の瞬間から何をしていくかという事だけだ。

### 相場は防御

●私は失うことを前提に考えます。獲得することに夢中になるのではなく保護することを第一に考えます。

●最も重要なルールは攻撃ではなく防御です。どのリスクポイントで自分は撤退するのかを把握しておかなければなりません。

●1ヶ月あたりの損失率を絶対2桁にしない。

●自分はうまいなどと思っ**て**はいけない。そう思った瞬間に破滅が待っている。

●ナンピンをしないこと。トレードがうまくいかないときは枚数を減らすこと。うまくいっているときには枚数を増やすこと。コントロールができないような局面では決してトレードしないこと。例えば、私は重要な発表の前には多くの資金をリスクにさらすようなことはしない。それはトレードではなくギャンブルだからだ。

●もし損の出ているポジションを持っていて不快なら、答えは簡単だ。手仕舞うだけだ。いつでも相場に戻って来れるのだから。新鮮な気持ちでスタートを切るのに勝るものはない。

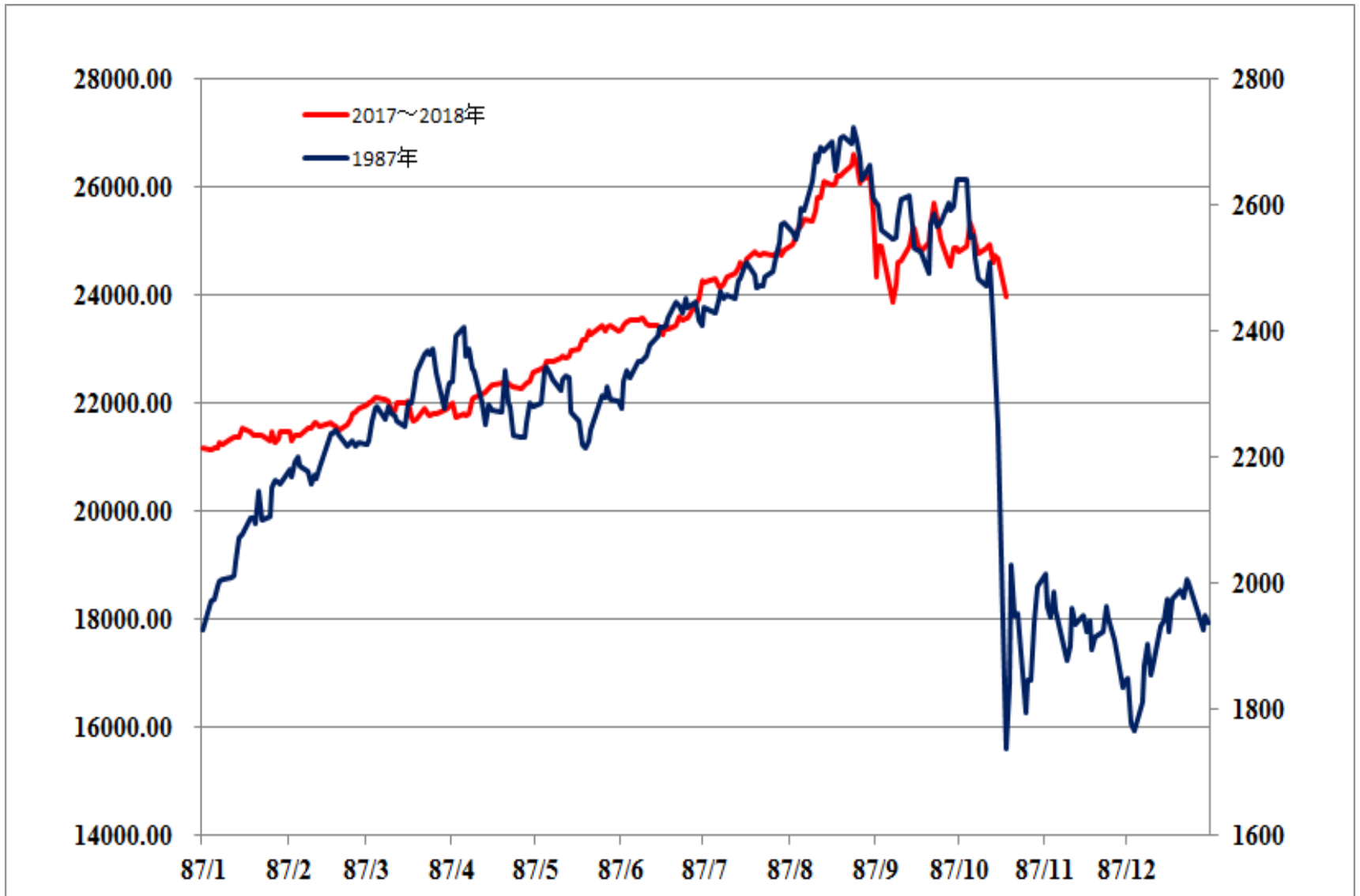
### エリオット波動

●間違ってしまったら間違っ**た**道から正しい道に移れば**い**いだけです。

### 決して自分のためではなく誰かのために

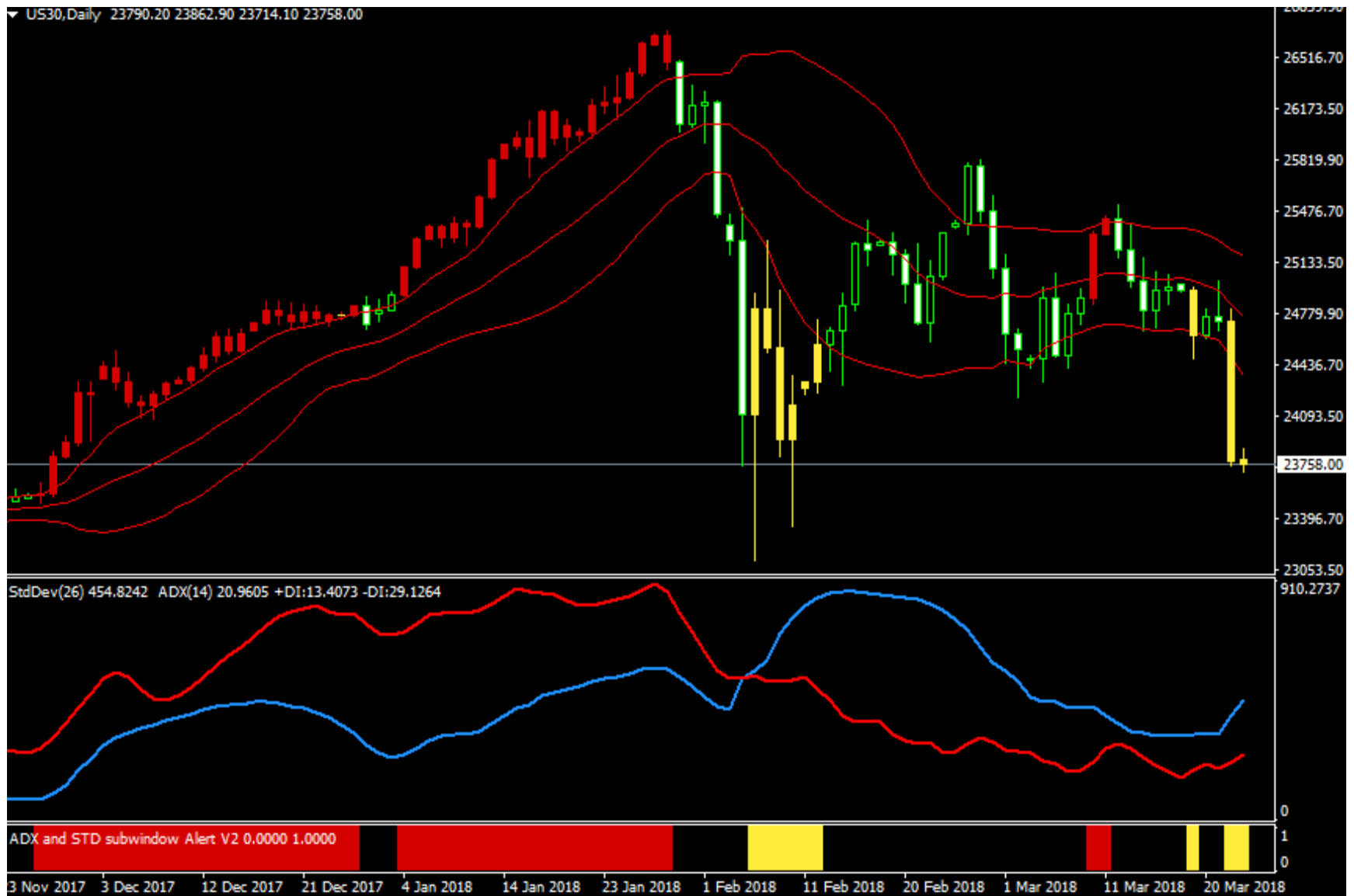
●自分のためだけでは人生に意義は見出せないでしょう。奉仕にその身を捧げた時あなたは喜びを見つけ人生は重要な意味を持ちます。

# NYダウ（日足）とアナログモデル



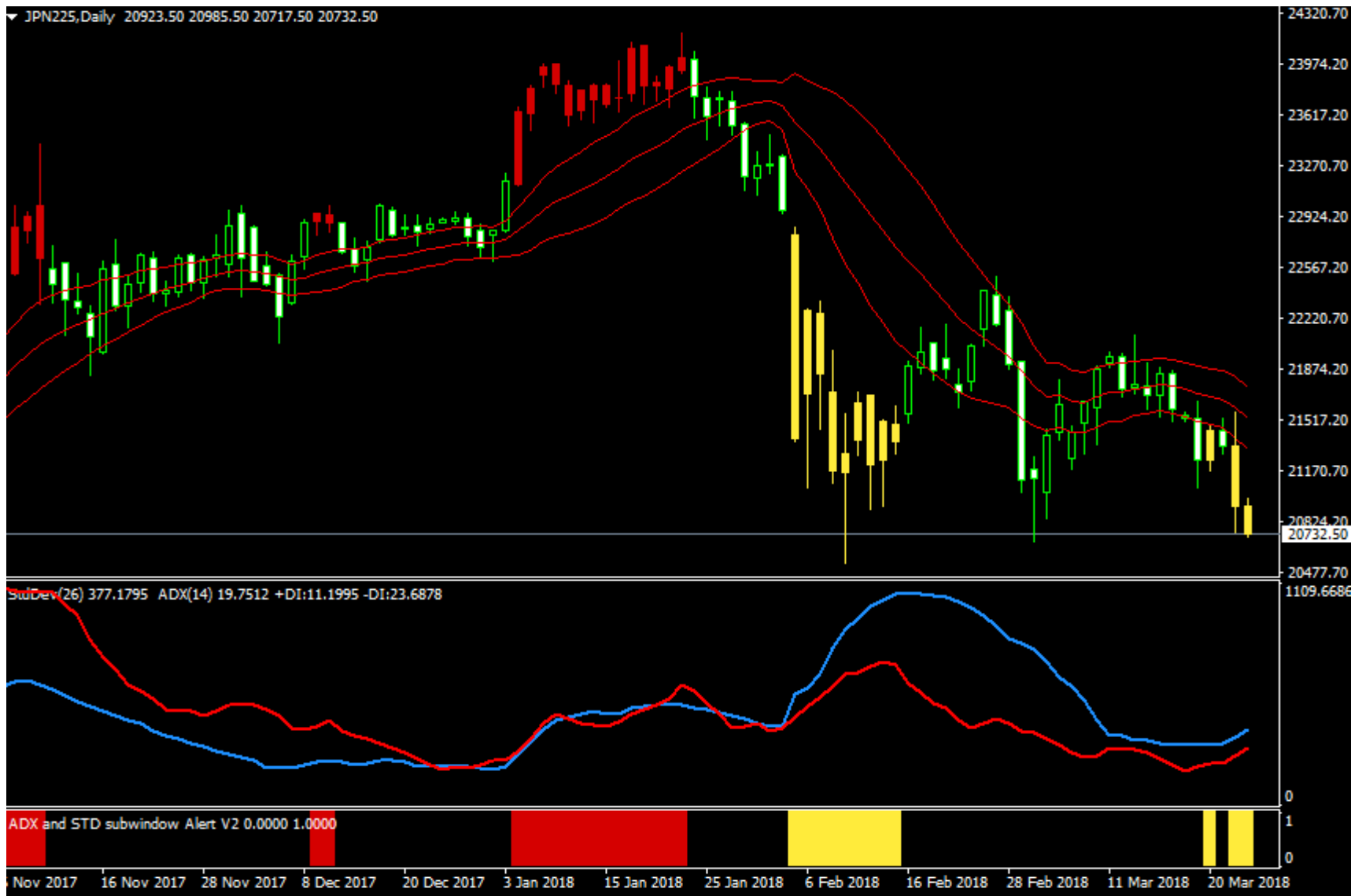
# NYダウCFD (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



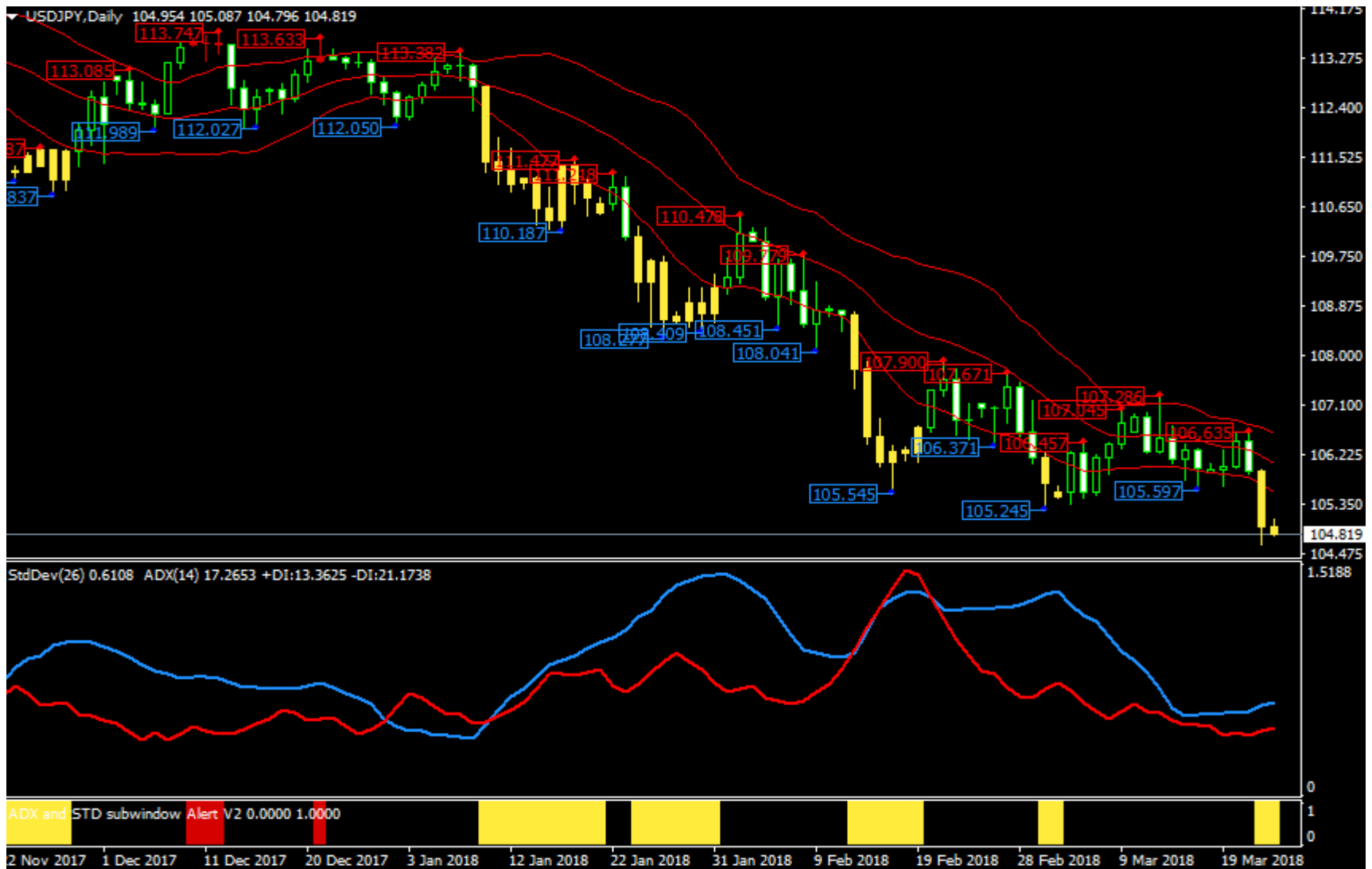
# 日経平均CFD (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)

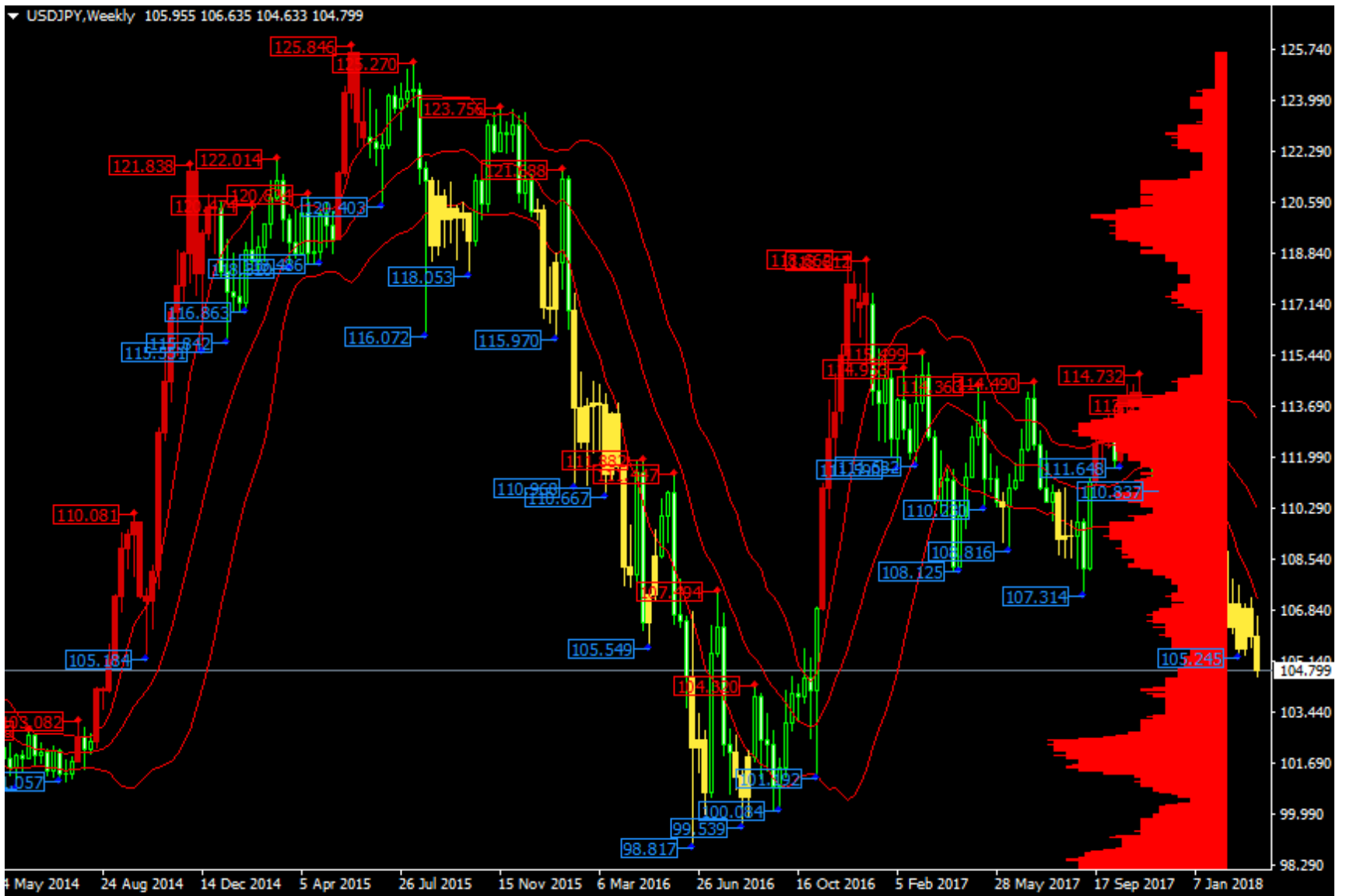


# ドル/円 (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



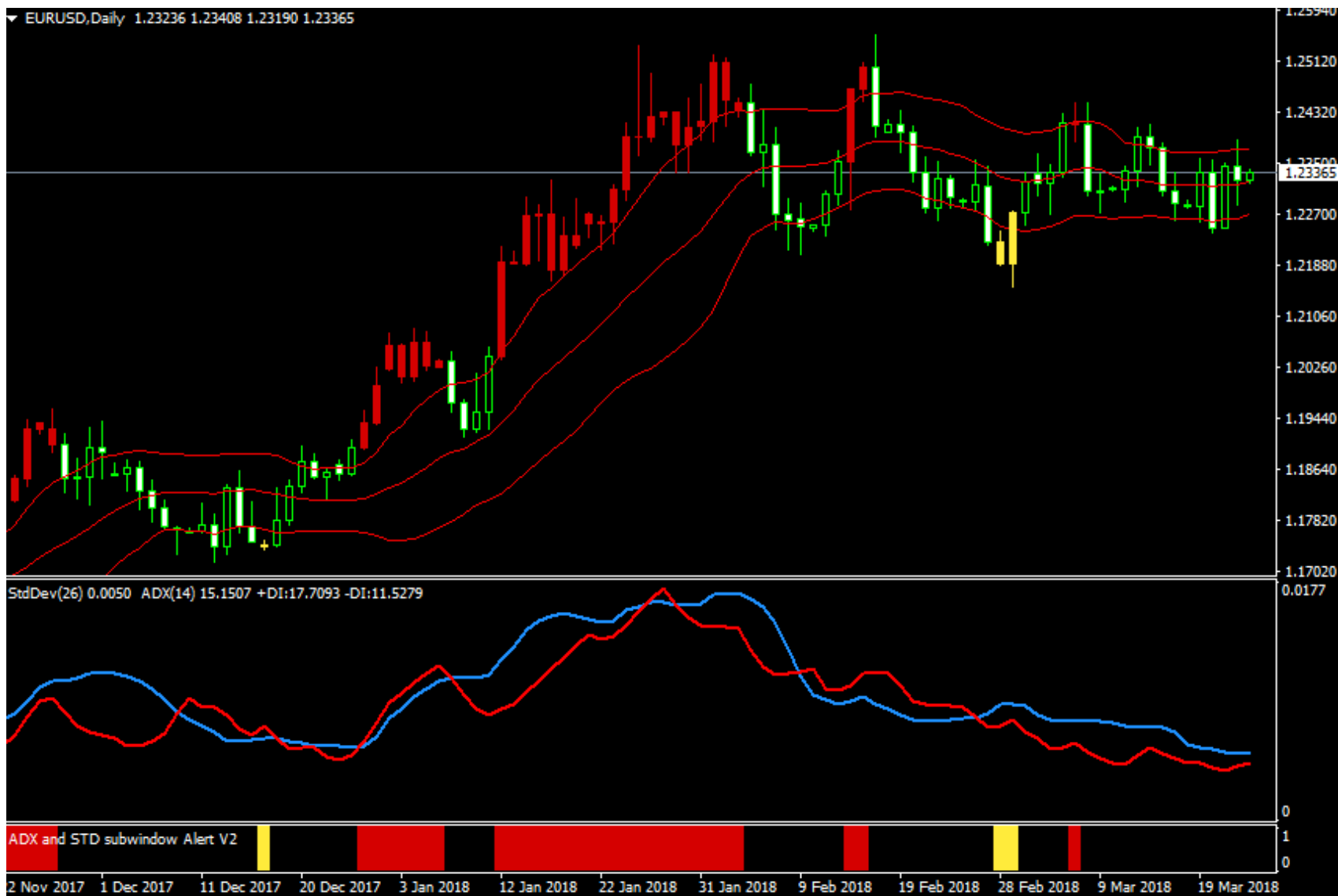
# ドル/円（週足）と価格帯別出来高





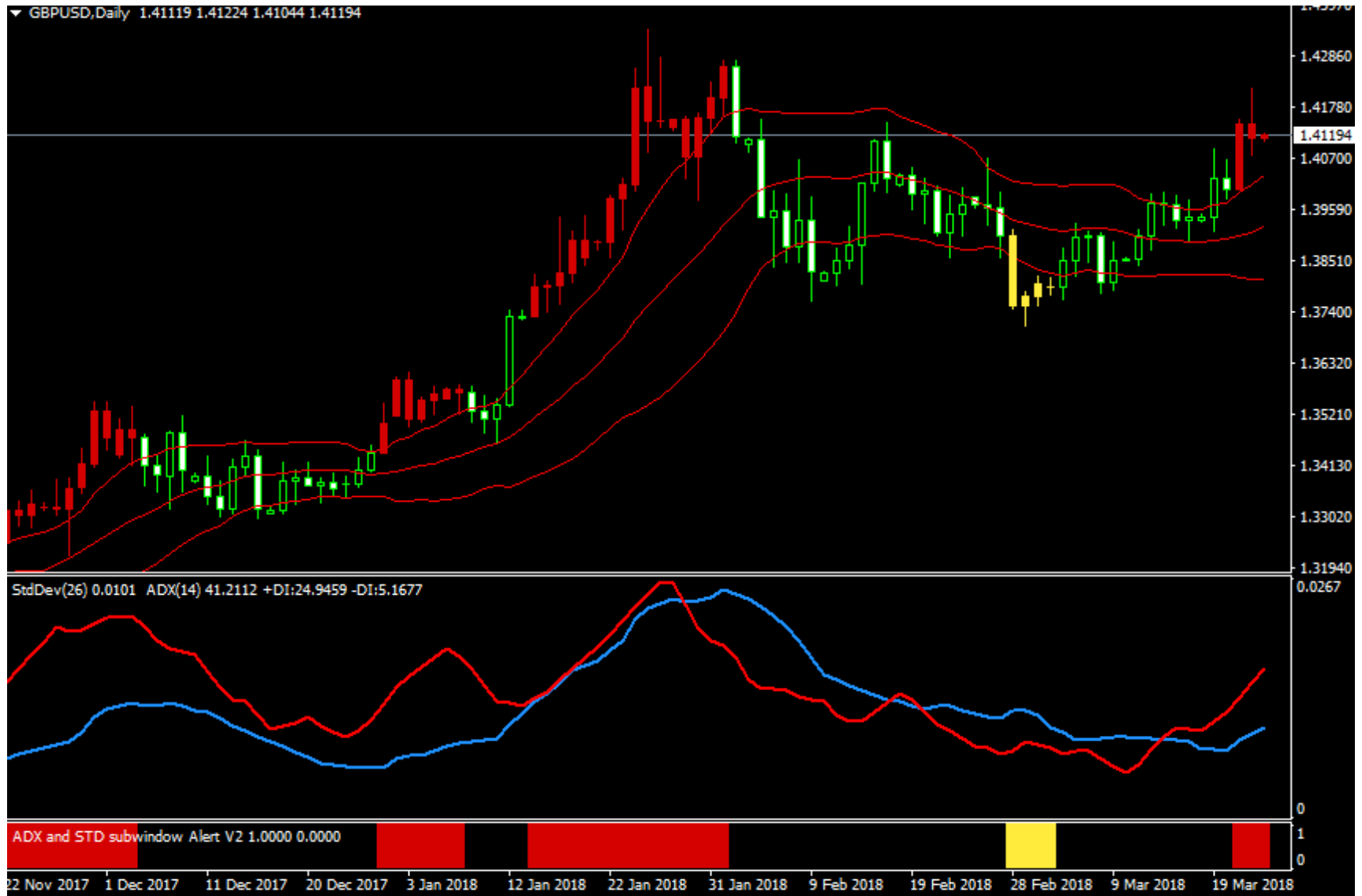
# ユーロ/ドル (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



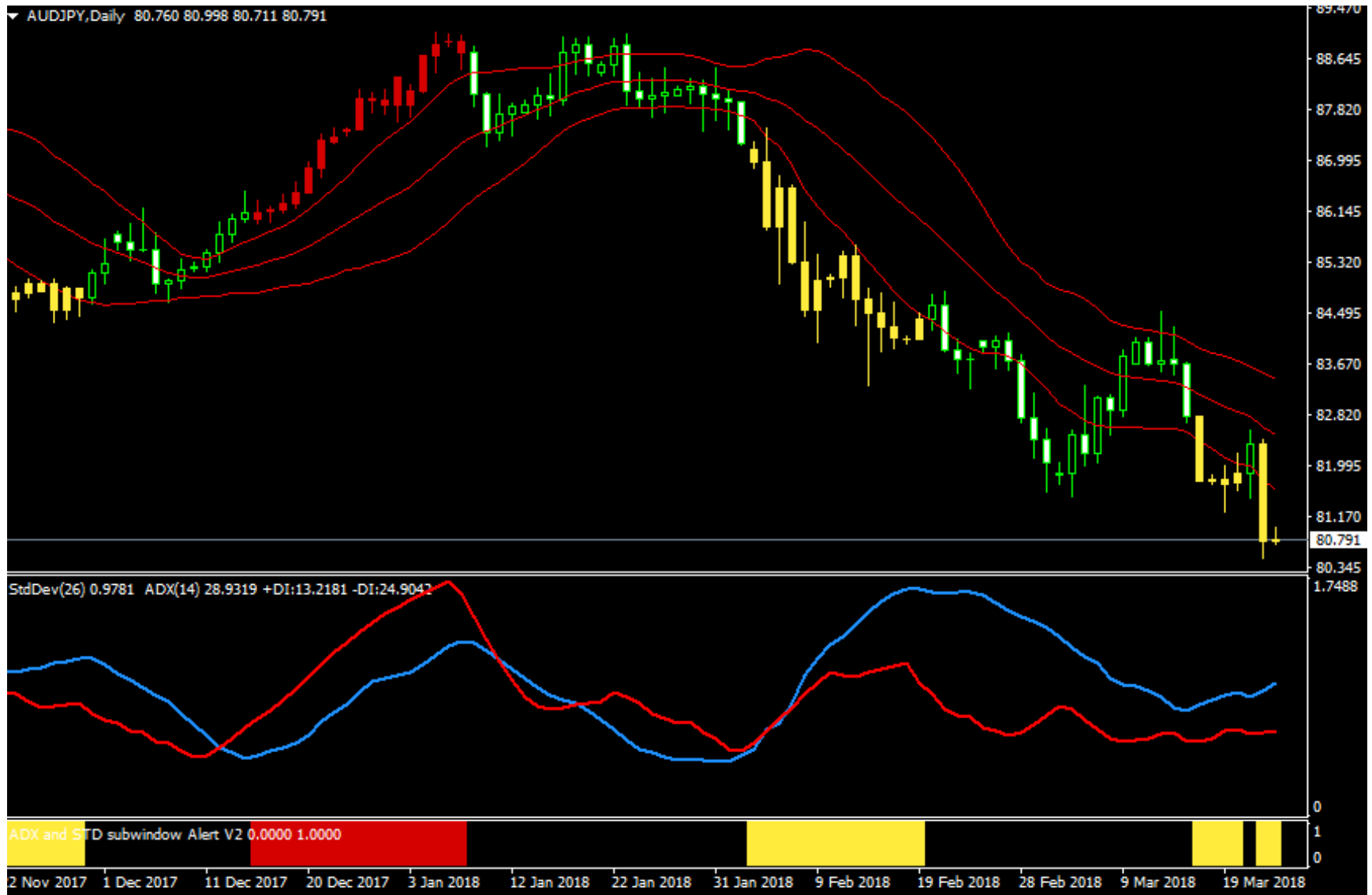
# ポンド/ドル (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



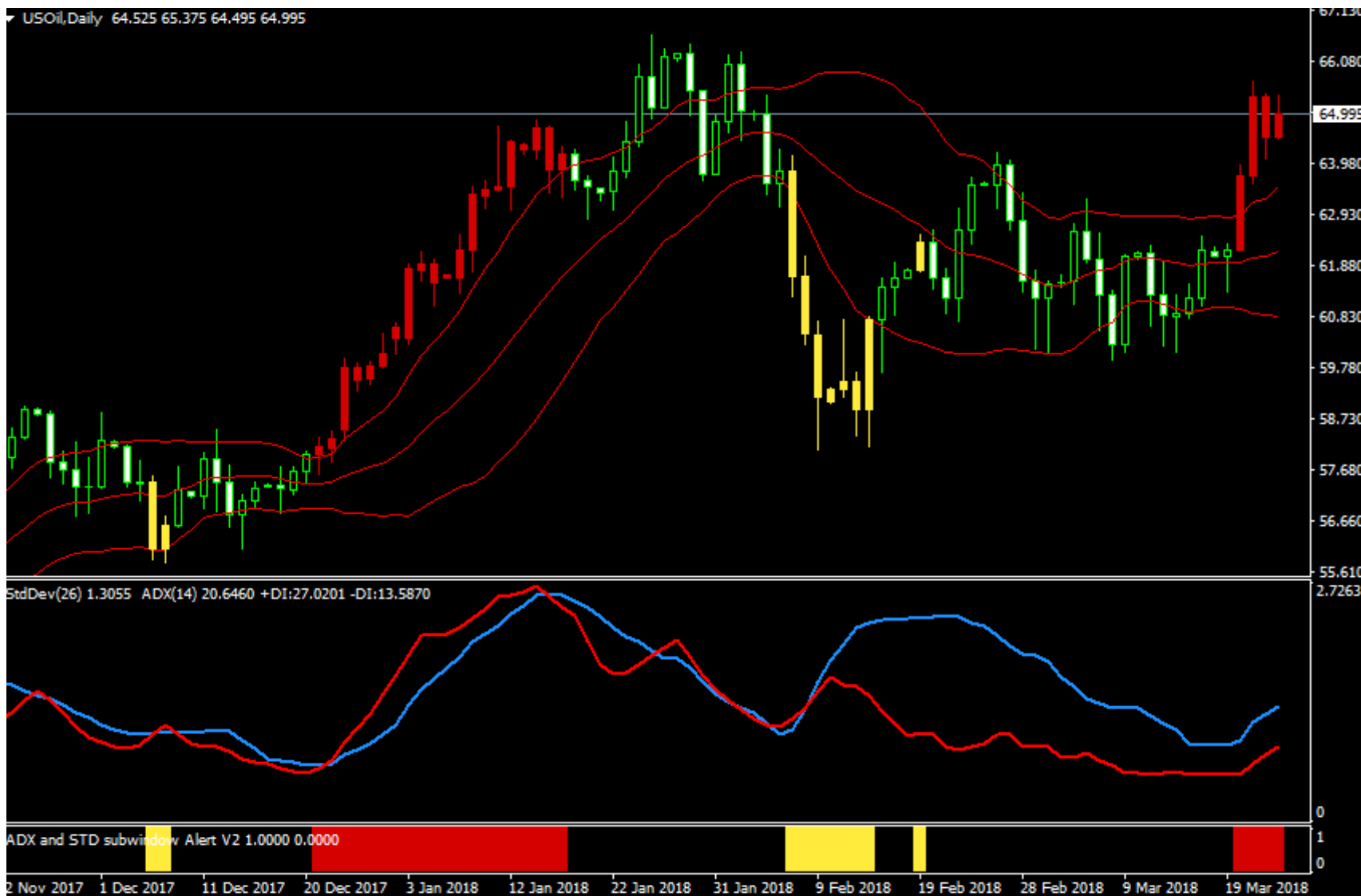
# 豪ドル/円 (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



# NY原油CFD (日足)

## 標準偏差ボラティリティトレードモデル (NEW!)



## 事態が悪化しているようにみえたときは、金融市場の崩壊は決してない

「事態が悪化しているようにみえたときは、金融市場の崩壊は決してない。実際には、全くの逆のことが当てはまるからだ。マクロ経済の流れは、病み始める前には常に良くみえてしまう。だからこそ、経済が機能不全に陥る直前、大多数のエコノミストは常に非常に良い状態であると断言してしまうのだ」

エルナン・コルテス＝ダグラス（チリ・カトリック大学教授）

「大国が民間部門の浪費や不正な行為で衰退することはない。しかし、公共部門がそういうことをすれば、あり得る。ほとんどの国で、公的歳入の全額、あるいはほとんど全額が、非生産的労働者の維持に使われている。（中略）こうした非生産的労働者が（中略）全歳入の大部分を食いつぶしているわけだ。しかも、そうした非常に多くの人々を喜ばせるために、生産的労働者を維持するための資金である資本を侵食してしまう。その結果、いかに民間部門が儉約や正当な行為をしようとも、この暴力的で強制的な侵食によって引き起こされた生産の無駄と劣化を補えなくなるのだ」

アダム・スミス『国富論』（1776）より